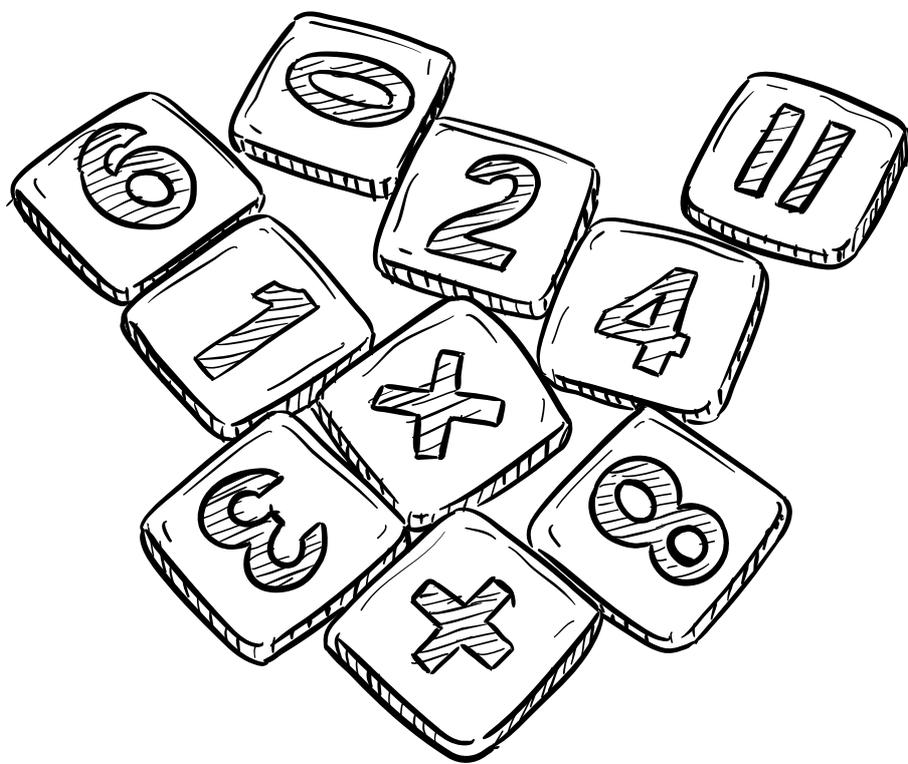


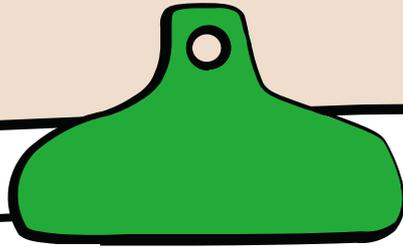
STUDY METHOD

～教育の指南書～



勉強が嫌いでも
大丈夫

Math Studio



はじめに

勉強は「好き」ですか? 「得意」ですか?

好きじゃなくても苦手でも大丈夫です。
成績を伸ばすための「正しいやり方」が分かれば
どんどん得意になり、どんどん好きになっていきます。

最初から「得意」である必要はありません。

今や世界に名を馳せる大谷翔平選手も
最初から野球が「得意」だったわけではなく
失敗も重ねてきたようです。
そんな大谷翔平選手は、失敗をマイナスと考えず
失敗は改善点として見ることを意識したと。

勉強も一緒。

「わからない」「解けない」からはじまり
「どうやって勉強したら良いかわからない」
「成績があがらない」ここからはじまります。

大谷翔平選手が自分に合ったトレーニングメニューで
練習したように
みなさんには一人ひとりに合った「勉強メニュー」が
必ずあります。

ただ勉強時間を長く取ればいいわけではなく
ただがむしゃらに机に向かえばいいわけでもなく
自分に合った「正しいやり方」を見つけることで
「得意」「好き」が後からついてきます。



- 目次 -

01	はじめに	1
02	「A-PDCAサイクル」とは ①	3
1	「Analyze」：自己分析	4~5
	・ABCチェック ・点数アップの秘訣！	
2	「Plan」：計画立て	6~7
	・目標設定のしかた ・勉強時間の決め方 ・アウトプット/インプットとは？	
03	コラム①：【勉強が好きになる】 おすすめ文房具③選	7
04	「A-PDCAサイクル」とは ②	8
3	「Do」：実践	9
	・演習のポイント ・暗記のポイント	
4	「Check」：見直し	10
	・振り返りのしかた	
5	「Action」：改善・調整	11
05	コラム②：【授業を活かす】 お家で勉強しなくても成績が上がる秘訣	12
06	おわりに	13

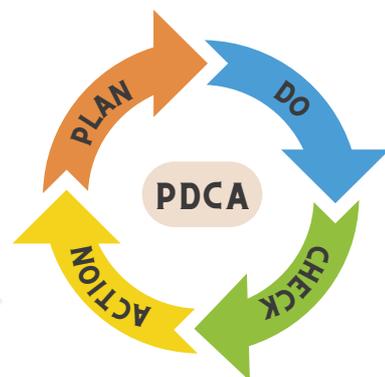


「A-PCDAサイクル」とは

■ まずは「自分を知る」こと

皆さんの中にも右図【PDCAサイクル】をみたことがある人はいるのではないのでしょうか。

PDCAとは、「Plan(計画)」「Do(実行)」「Check(評価)」「Action(改善)」それぞれの頭文字をとった用語。簡単にいうと、“**計画的に行動して、その成果を評価する**”というサイクルを繰り返すことで、物事のやり方を改善する手法です。



「PDCAサイクル」

元々は仕事のやり方を改善する方法として使われていましたが、最近では**勉強のやり方**でもこの手法が使われる場面が増えてきました。



「A-PDCAサイクル」

Math Studio では、上記に「**Analyze(自己分析)**」を加えた【**A-PDCAサイクル**】を用います。

ただやみくもに目標設定・計画をすればいいというものではありません。「自分は何が得意で何が苦手なのか」「将来どんな大人になりたいのか」など、まずは**自分という人間を理解する**ところから始めます。

そうすることで、今自分が何をやらないといけないのかが明確になり、目標設定・計画もスムーズに行うことができます。

**勉強は
「今の自分に合っているもの」
が目標達成の近道です!!!**

完全バージョンは面談の際お渡しします。
「STUDY METHOD」を使い、正しい学習法
をマスターしていきましょう。



まずは、お気軽にご相談ください。